

「働かせ方改悪」法案 衆議院強行採決 許せない！ あきらめず訴えつづけよう

「働き方改革国会」とぶち上げた安倍首相はあくまで法案の成立を強行する姿勢です。議会制民主主義の建前も根底から破壊し、ボロボロの姿になっていますが、数の力で押し切れば乗り切れるとタカをくくっています。言い換えれば労働者・市民をとことん侮っています。腹立たしい限りです。

「高プロ」は財界の願い

財界からの長年の強い要求を背景にした「高プロ」制度＝高度プロフェッショナル制度は「高収入の一部の労働者」を対象に、労働時間規制を完全になくすものです。二十

四時間三六五日、自然時間の限界まで労働者を定額でこき使うことができるとするものです。休憩、休日、残業の概念はなくなり、過労死認定基準となる労働時間も消されてしまします。「高収入」というのは今だけ。ひとたび導入を許せば賃金の基準は限りなく下げられます。アメリカ力では年収四百万円と言われます。

過労死増やす悪法

過労死を間違いなく増やし続ける稀代の悪法です。厳しい批判、過労死遺族の官邸前座りこみを尻目に、安倍政権は衆議院の厚生労働委員会で強

行採決し、本会議も通しました。参議院で委員会審議に入っています。

「労働者の意思で離脱できる」との修正を加えないままが現実にアリ得ないこと!!こんな深刻な事態が進行しているのにメディアは日大アメフト問題の陰に隠しています。

最後まで声あげよう

過労死遺族の方々の「同じ苦しみを誰にも味わってほしくない」という悲痛な訴えを噛みしめ労働組合こそ声を大にして訴えましょう。国会議員の数では負けるけど最後まで諦めず阻止するために奮闘しましょう!



「高プロ」に反対し首相との面談を求めて座り込む「全国過労死を考える家族の会」。しかし五月二三日、安倍首相が応じないことを衆院厚生労働委員会で内閣官房の審議官が明らかにした。家族の会は面談で、働き方改革関連法案から高度プロフェSSIONAL制度（高プロ）を削除するよう訴える考えだった

冷血漢 安倍首相 「全国過労死を考える家 族の会」との面談拒否！



五月二五日、衆院厚生労働委員会で法案が可決された。当日国会前で抗議する人々。しかし、三十一日衆議院本会議を通過してしまった。



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！